

# たんちよう

JAくしろ丹頂  
広報誌

vol.136  
2019.2

くしろ丹頂

## 哺育育成センター哺育施設 完成!!



### CONTENTS

- 哺育育成センター カウハッチハウス・草舎 完成— 1
- JA青年部鶴居支部「ふるさと給食出前授業」  
第31回「かあさんDAY」————— 2
- 釧路地区JA女性部研修会 / 金融研修会 —— 3
- 乳質改善PJ情報局 ————— 4
- 普及センターだより ————— 5
- JA共済からのお知らせ ————— 6
- JAグループ通信 ————— 7~8
- 共済規程の一部変更について / 理事会報告 /  
生乳生産実績 ————— 9



盛況!! Aコープつるい店「テント市」(12/5)

# 哺育育成センター カウハッチハウス・草舎 完成!!

～ 後継牛の育成、酪農経営の支援充実を目指して ～



快適性を兼ね備えたハウス内

昨年11月から哺育育成センター敷地内に建設してありましたカウハッチハウス及び草舎が1月7日に完成致しました。

カウハッチハウス（D型ハウス内にカウハッチを設置）は雌仔牛の預託受入頭数を拡大し、哺育・育成牛の飼養管理における労働力の軽減を図るとともに、後継牛の育成・初産分娩月齢の短縮等、酪農経営の合理化及び支援体制の整備を目的としています。また、草舎（D型ハウス）は、哺育・育成牛に給与する乾牧草を適切に管理・保管するための施設となっております。

今後更なる生乳増産及び労働力の軽減、後継牛育成、初産分娩月齢の短縮等へ向け酪農経営の支援を図って参ります。



D型草舎



哺育D型ハウス内洗い場



# 「ふるさと給食出前授業」で「食育教育」を実施

～ 青年部 鶴居支部 ～



模擬搾乳体験



わかりやすく説明する千葉康次郎さん

11月26日、鶴居小学校で、よつ葉乳業(株)根釧工場主催による「ふるさと給食出前授業」が行われました。

この授業は社会学習の一環で、3年生を対象に「根釧牛乳」の消費拡大と地産地消の意識を根付かせる「食育教育」を目的に毎年実施しております。

当J A青年部鶴居支部の千葉康次郎さん、菊地大輔さん、よつ葉の担当者が講師となり、「牛のからだ・牧場のしごと・牛の一生・牛乳のできるまで」等をわかりやすく解説しました。

また乳牛の模型を使った搾乳体験を行うなど、生徒達は「酪農」について多くの事を学ぶ機会となりました。

## 第31回「かあさんDAY」開催

～ 研修会実施・部員同士の交流を深める ～



研修会の様子

12月12日、鶴居村総合センターで第31回「かあさんDAY」が開催されました。

部員・関係者33名が参加し、ホクレン釧路支所の担当者からJ A個別宅配事業ジョイライフ商品の説明を受けた後、試食会を実施しました。

研修会は、営農部黒澤信道デイリーアドバイザーが講師となり「乾乳期から牛の健康を立て直そう」をテーマに学び、意義ある研修となりました。

# 釧路地区JA女性部研修会

～ 管内のJA女性部員が集い研修・交流を深める ～



J A女性の歌を斉唱



グループワークで思いを共有



## 講師の指導を受けつつ絵手紙作りに挑戦!

12月4～5日、釧路プリンスホテルで管内の女性部員・事務局計55名(当JA女性部員15名)が参加し、平成30年度釧路地区JA女性部研修会が開催されました。

1日目の研修で、ドキュメンタリー映画「カレーライスを一から作る」を視聴し、映画から感じた事・学んだ事についてグループワークを実施しました。また、前年の北海道胆振東部地震の災害で学んだ事・今後の危機管理について意見を出し合い思いを共有しました。

2日目は、(一社)日本絵手紙協会 山崎 瞳講師による「絵手紙教室」を実施するなど、2日間の研修を通して部員同士の交流を深めつつ多くの事を学び、大変有意義な研修となりました。

## 金融研修会を実施

11月21・27日の両日、本所及び白糠支所で金融担当職員を対象とした研修会を実施しました。

JA北海道信連釧路支所 森隆司副調査役及び石動金融共済部長を講師に「相続事務手続、金融機能不正利用防止、相談・苦情等対応」について学び理解を深めました。





### 牛体、特に乳頭のキレイさ

乳房炎防御のひとつのポイントである「乳頭周辺から乳房炎原因菌を減らす」について考えてみましょう。

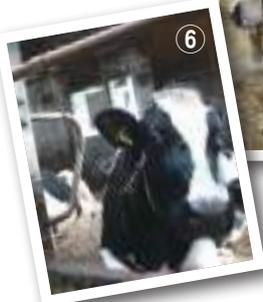
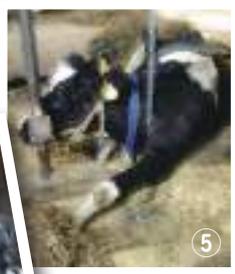
一般的な乳房炎原因菌は、乳頭口から侵入します。ですから極端な話、乳頭さえキレイであればいいこととなりますが、実際には牛体がキレイでなければ、乳房炎ばかりでなく、あらゆる不利益が発生するリスクが高まります。牛体が汚い場合は、いくら栄養面で理屈があっても、高産乳を永続的に求める管理には無理があります。

ではどうすれば牛体の汚れが予防できるでしょうか。かつてのように一頭ずつ頻繁にブラッシングすることはできませんから、施設面と管理面からのアプローチが求められます。つまりは「いかに汚さないか」です。まず乳牛が多くの時間を過ごす牛床が汚れていては勝負になりませんが、そのためには汚

づらい構造の寝床やストールであることが重要です。乳牛の寝起きの動作を邪魔するものであってはなりませんし、横臥中の乳牛の安楽性を阻害してなりません。数センチの寸法の違いで大変な目に合うこともあります。次の写真の牛床構造は、乳牛が満足できる牛床になっていないがため、牛床や牛体を汚しやすいものになってしまっています。



①～③の牛床は、乳牛の寝起きするために本来の取りたい行動を邪魔する構造となっており、牛床管理は手間ばかりかかり、それでも牛体を美しく保つのは困難となります。何頭もの牛が体を痛めつつ、数年後には④のようになってしまうこともあります。



乳牛が立とうとする時、頭を大きく前方に突き出すことを強く邪魔する⑤や⑥なども乳牛からのブイイングの音が聞こえてきそうです。これはスタンション

ン下方のチェーンを短くしてしまつことも同様なことが起こります。盗食防止のためには別策を講じたいものです。

また、自由度を高めることは結構なことなのですが、放牧地ではないので畜舎内でコントロールが効かなくなつてしまつと乳質を悪化させる要因となります。



ひたりと決まった牛床構造は、キレイな牛体維持だけでなく、日頃の維持管理も効率的にしてくれます。

※情報提供は釧路農協連より



# 普及センターだより

釧路農業改良普及センター 釧路中西部支所

## 平成30年産自給飼料の 生育と分析結果より

今回は、H30年に収穫された自給飼料の作況調査、収量調査結果や粗飼料分析値などから、傾向や使用方法について考えてみたいと思います。

### 1 生育及び収穫作業の経過

#### ● 1 番草

6月上旬の高温により、1番草の生育は順調に経過し、出穂始めは平年並でした。しかし、6月下旬以降の雨続きにより収穫は平年より14日と大幅に遅れました。

#### ● 2 番草

1番草収穫の遅れと8月以降の天候不順により、草丈の伸びは平年より遅れ、収穫期は10日遅れました。

#### ● 飼料用とうもろこし(コーン)

6月中旬からの低温により、草丈は平年よりも短く、以後、生育は緩慢となりました。8月の天候不順は、登熟や収穫作業にも影響し、黄熟期は平年の10日遅れ、収穫始めは4日遅れとなりました。9月30日、10月7日の台風の接近により収穫作業

を早めた農家も見られましたが、登熟待ちで収穫作業を遅らせた農家もおられ収穫期間が伸びました。

### 2 収量(表1)

● 1番草の収量は、平年の101%となりましたが乾物収量は、刈遅れにより115%となりました。

● 2番草の収量は、平年の93%、乾物収量は94%と少なくなりました。

● 1番草と2番草の合計収量は98%となりました。

サイレージ等の確保量は収穫時期によりばらつきが大きな年となりました。

● 飼料用とうもろこしの生収量は、平年の85%とかなり低くなりました。

表1 平成30年 中西部支所管内の収量調査結果  
(市町村、JA、普及センター調査による)

	H30	平年	平年比
1 番草	2,236	2,219	101%
2 番草	1,178	1,266	93%
合計	3,414	3,485	98%
	H30	平年	平年比
コーン	5,162	6,067	85%
TDN収量	876	1,016	86%

※収量はkg/10a

### 3 栄養価(表2)

12月時点までの釧路管内の粗飼料分析値のデータから、今年の傾向を見てみましょう。

#### ● 1 番草

収穫期は平年の8日遅れでしたが、TDN、CPは、H29年と比較してほぼ同じでした。

一方、NDFは昨年より3ポイント高くなりました。既に給与している農場からは、「発酵品質は悪くないが、収穫時期が遅れたものは、食い込みが悪く、乳量が思ったほど出ない」と言う声も聞かれています。

#### ● 2 番草

栄養価は昨年と同じ傾向でした。

#### ● 飼料用とうもろこし(コーン)

TDN、NDFはそれぞれH29年対比100%と前年並でしたが、デンプン含量は2ポイント低い結果となりました。

台風接近のために収穫が早まったほ場や鹿食害にあったほ場は、デンプンが低く、登熟してから収穫したほ場では平年以上のデンプンが期待できそうです。

### 4 給与について

#### ● 食い込み量の確認

1番草、2番草共に刈り遅れにより食い込みが悪い場合、糖蜜資材の活用や、ビートパルプなど消化性の高い飼料との併給や代給は、有効な方法です。また、刈り遅れたサイレージは、水分が低くカビや変敗等に注意し、品質や分析値、牛が十分に食べているかなどを確認しましょう。

コーンは状況によってデンプン率に差があるので、給与の際は、分析結果と牛の反応を確認しましょう。

状況に応じて栄養成分の不足を補うなど、臨機応変に対応しましょう。

表2 平成30年度粗飼料の分析値平均  
(H30.12月現在 ホクレン受付分)

		H30産	H29産	H30/H29
1 番草	TDN%	60	61	98%
	CP%	11	11	99%
	NDF%	67	64	105%
2 番草	TDN%	60	61	99%
	CP%	14	14	104%
	NDF%	61	61	100%
		H30産	H29産	H30/H29
コーン	TDN%	70	70	100%
	澱粉%	22	24	92%
	NDF%	47	47	100%



JAの  
自動車共済  
加入者向け

突然の「事故」や「故障」など  
緊急時に心強いスマホアプリ!!

# JA共済 くるまのミカタ

お車のトラブル時にアプリを利用すれば受付窓口へのスムーズな連絡が可能です。

## 1 レッカー・ロードサービスの要請 受付窓口 JA共済サポートセンター

- 1 GPS機能で位置情報を送信することができます!
  - 2 トラブル状況の画像を送信することができます!
  - 3 お車情報を自動送信します! ※ご利用時に事前登録がされていないと、お車情報はJA共済サポートセンターに通知されません。
- ➡ 必要な情報をJA共済サポートセンターに送信でき、迅速にレッカー・ロードサービスを受けられます!



## 2 事故受付 受付窓口 JA共済事故受付センター

- 1 GPS機能で位置情報を送信することができます!
  - 2 お車情報を自動送信します! ※ご利用時に事前登録がされていないと、お車情報はJA共済事故受付センターに通知されません。
- ➡ 必要な情報をJA共済事故受付センターに送信でき、迅速な事故受付が可能となります。

※JA共済事故受付センターにトラブル状況の画像を送信することはできません。

事故や故障が発生した際には、JA共済サポートセンターまたはJA共済事故受付センターの専門スタッフがいつでも(24時間365日)対応いたします。ぜひ、お持ちのスマートフォンにアプリをご準備ください。

※アプリご利用時の通信料は、ご利用者さまのご負担となります。

## アプリのダウンロード 無料でダウンロードできます。



くるまのミカタ

※iPhone、iPad、App Storeは米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。  
 ※「Android」「Google Play」はGoogle Inc.の商標または登録商標です。

■ **ご注意事項**

交通事情、気象状況等により、対応業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。ご利用者さまのご契約内容・トラブル状況によっては、サービスの一部または全部がご提供できない場合があります。ご利用者さまのお使いの機種および設定によっては、位置情報を必要とするサービスをご利用いただけません。アプリで提供されるGPSによる測位結果の位置情報は、利用環境やGPS衛星の電波状況により、位置が表示されない場合または実際の位置と誤差が生じる場合があります。詳細はアプリ内の「JA共済くるまのミカタ」利用規約をご確認ください。

※このチラシは「JA共済くるまのミカタ」の概要を説明したものです。詳細につきましては、お近くのJAにお問い合わせください。  
 ※スマートフォン向けアプリのため、フィーチャーフォンの場合にご利用いただけません。また、お使いのスマートフォンの機種・設定等によってはご利用いただけません。  
 ※本アプリは、JA共済の自動車共済に加入されている方向けに無料提供するものです。  
 ※このチラシに記載している画面はイメージです。実際の画像と異なる場合があります。



# JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

## JA北海道中央会

次世代の大規模農業経営者の育成を目的とした「北海道



アグリフードプロジェクト・アカデミー（農業経営塾）」の第3回講座が、受講生10名の参加のもと、11月29日・30日の両日、札幌市内で開講されました。

今回は「人づくり・組織づくり」をテーマに組織開発、労務管理の基礎知識を専門家から学ぶとともに、先進事例の紹介もあり、研修のまとめとして、受講生各自が「夢の農業経営」を実現するための「働き方改革実行宣言」を行いました。



## JA北海道信連

11月に農業経営者支援の一环として、今年で8回目となる「農業経営フォーラム」を札幌で開催しました。当日は、(有)トッピーバー



の嶋崎代表取締役役に「トッピーバー流の人材育成」を、志ネットワークの上甲代表に「いま経営者に求められるもの」松下幸之助の人づくり」をテーマに講演頂きました。参加者からは、「人材育成の重要性を理解できた」、「人としてあるべき姿を教わった」など好評を頂きました。



## ホクレン

全道のホクレンSSで展開した「2018



ラブ&ハートチャリティキャンペーン」に寄せられた募金と、売り上げの一部を合算した総額300万円を、北海道社会福祉協議会へ寄託しました。当キャンペーンは、ホクレンの社会貢献活動「HOKUREN SEEDS PROJECT」の環として実施しており、道内の児童保育施設約80箇所に、絵本などの購入費用として使用いただく事となっております。



## JA共済連北海道

12月24日(月)から1月20日(日)まで、さっぽろ地下



歩行空間に、「アンパンマン×こども共済」の巨大壁面広告(全長14.5m)を掲出します(写真はイメージです)。一般のママ達を選ぶ「マザーズセレクション大賞」を受賞した「こども共済」を年末・年始にかけ全道から札幌へ訪れる方々へPRいたします。札幌にお越しの際は、ぜひ地下歩行空間でご覧下さい!



## JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の



皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



# JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

## JA北海道中央会

JAグループ北海道は平成30年12月17日に、北農ビルで



9月に刈り取った稲の脱穀やしめ縄づくりを行いました。田植えから稲刈りまで、1年を通して行ってきた食育活動「街なか田んぼ」の最終回として、中の島興正保育園の園児10名が参加し、園児自らが茶碗を使って稲を脱穀、すり鉢で粳すりをした後、精米機を使って精米まで行いました。ご飯が炊けるまでの間、稲わらを使ったしめ縄づくりも体験。最後は炊きたたのご飯でおにぎりを握り、自分たちが作ったお米を味わいました。

JAグループ北海道は、これからも農業体験を通じて食と農の大切さを子供たちに伝えて参ります。



## JA北海道信連

昨年12月に、地域貢献活動の一環として、サンタクロースに扮したJAバンクのキャラクター

「ちょリス」が、被災地のむかわ町、厚真町、安平町と釧路市・中標津町の幼稚園等10カ所を訪問しました。

園児らと野菜しりとりゲームやダンスなどで楽しく交流し、最後にちょリスからクリスマスプレゼントを贈りました。地震により被災した地区の子供達も、ちょリスとの触れ合う時間を楽しんでいました。



## ホクレン

ホクレンは、冬においしい北海道かぼちゃ



「りようおもい」をアピールするイベント「冬至には『りようおもい』を食べよう!」を昨年12月15日、札幌市清田区のイオン札幌平岡店で開きました。同店の青果売り場で「りようおもい」を販売するとともに、(株) もりもとの協力を得て、「りようおもい」を使用したぜんざいを1,000食を正午から15時からの2回に分けて来店客に提供しましたが、それぞれ1時間ほどで終了する盛況ぶりでした。



## JA共済連北海道

2月4日から11日まで開催される「第70回さつぽろ雪まつり」大通会場4丁目にて、『平成30年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール』の入賞作品63点を展示します。交通ルールの大切さや交通安全

に対する願いが描かれた小・中学生の皆さんの力作をぜひご鑑賞ください。

JAとJA共済連北海道は、今年もさまざまな地域貢献活動に取り組んでまいります。



## JA北海道厚生連

12月18日(火)札幌厚生院小児科病棟にてクリスマス会が開催され、コンサドーレ札幌の深井選手と菅選手、ドーレ君、コンサドーレズが病院を訪問されました。この企画は、JAグループ北海道と北海道フットボールクラブとの相互協力協定に基づき、食育とスポーツ文化、地域文化振興にかかわる事業の一環として行われ、今年が11回目となります。プロ選手を目の前にして、緊張気味の子どもたちでしたが、PK合戦やダンスで緊張もほぐれ大いに盛り上がり、満面の笑みを浮かべていました。



平成31年1月31日

組合員各位

釧路丹頂農業協同組合  
代表理事組合長 武藤 清隆

共済規定の一部変更について、下記のとおり平成30年12月21日 12月定例理事会において議決しましたので、定款第55条第2項の規定にもとづき通知いたします。

なお、変更の内容については、今後、北海道知事の承認を受け、効力が生ずることとなります。

記

1. 変更内容  
自動車損害賠償責任共済について、e-JIBAIを導入することに伴い、共済規定の一部を変更する。
2. 実施時期  
平成31年4月1日

以上

## 理 事 会 報 告

### 12月定例理事会 平成30年12月21日(金)

#### 報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 11月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 内部審査の結果について
6. 会計監査人予定者の決定(内定)について
7. 大口信用供与等先の経営状況等について

- 議案第3号 営農計画樹立基本方針の設定について
- 議案第4号 平成30年度森林整備事業の実施について
- 議案第5号 固定資産の取得について
- 議案第6号 共済規程の一部変更について
- 議案第7号 諸規程の一部改正について
- 議案第8号 資産評価に係る基準額の改定について

#### 付議事項

- 議案第1号 平成30年度(第3四半期)にかかる監事監査の結果について
- 議案第2号 融資の承認について

#### その他協議事項

1. 当面の業務日程について

■平成30年度	生乳生産実績(12月)			
	月計乳量(kg)	12月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)
JAくしろ丹頂	8,397,540.7	101.7	76,509,230.6	103.0
鶴居地区	3,164,920.8	107.2	28,394,319.1	106.5
幌呂地区	2,157,767.2	97.6	19,726,869.7	99.9
白糠地区	1,662,793.9	99.7	15,223,250.9	100.2
音別地区	1,412,058.8	99.3	13,164,790.9	104.1
管内計	43,905,038.1	99.7	397,487,876.3	100.1
(前年度管内計)	44,048,345.6		396,986,468.9	

編集後記  
EDITOR'S NOTE

□風邪及びインフルエンザが猛威を振るっております。季節性のインフルエンザは12～3月がシーズンといわれております。厚生省のHPにも掲載されているインフルエンザ予防のポイントとして、1. 流行前のワクチン接種 2. 飛沫感染対策としてのせきエチケット 3. 外出後の手洗いやアルコール消毒 4. 適度な湿度の保持 5. 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取 6. 人混みへの外出を控えるなどです。重症化すると毎日の生活や仕事にも直接影響を及ぼすため、支障をきたさないよう日頃から予防と対策を万全に実施して参りましょう。